

もはやビジネスパートナー!

実は解消できる通訳・翻訳ツールの課題と
ビジネスを拡大するための
AI通訳とは？



はじめに

国際的な取引やインバウンドの増加、さらには外国人労働者の増加によりビジネスシーンにおいては、多言語でのコミュニケーション機会が増えています。世界中の市場と消費者を対象に調査を行うグローバル市場調査会社、Market Research Futureによると、翻訳サービス市場は2024年の413億米ドルから2032年までに980億米ドルに成長するとされています。

しかし、通訳や翻訳ツールにはそれぞれコストがかかるのはもちろん、事前準備に工数がかかる、通訳・翻訳の品質が低くミスコミュニケーションが発生するなど、課題を抱えている企業も少なくありません。ますます多言語でのコミュニケーションが必要となるであろう今後のビジネスシーンにおいて、企業はどのような対策を取ればよいのでしょうか。

そこでこの資料では、**通訳や翻訳ツールにかかっていたコストや手間を大幅に削減しつつ、より確実に多言語でのコミュニケーションをサポートする方法**を紹介します。

参照：<https://www.marketresearchfuture.com/reports/language-translation-software-market-4452>

CONTENTS

はじめに	P2
多言語時代における通訳・翻訳の重要性	P3
通訳や翻訳ツールが必要なビジネスシーン	P4
「仕方がない」と諦めがちな通訳・翻訳ツールの課題	P5
低コストかつ正確な多言語コミュニケーションをAIで実現する方法	P6
Wordlyの活用シーン	P7
Wordlyの操作イメージ	P8
導入事例紹介：RX Japan株式会社様	P9
AI翻訳ツール「Wordly」でビジネスチャンスを拡大しよう	P10

多言語時代における通訳・翻訳の重要性

通訳や翻訳ツールは、ビジネスの効率・成功率を高める存在といえます。

昨今の多言語時代においては、ビジネスシーンで複数の言語が飛び交うため、言語の壁をなくし、正確かつスピーディに情報交換できる環境が必要です。

特に国際会議・展示会・交渉などの重要な場面では、各国のステークホルダーの発言を細かなニュアンスまで理解したり、相手国のマナーや習慣をふまえた上でコミュニケーションをとることで、**ビジネスに多様性が生まれ、新たなアイデアやイノベーションが生まれやすくなります。**



通訳・翻訳ツールを介すことで...



今後もビジネスシーンでは複数の言語が飛び交うシーンが増えていくため、企業はいかにミスコミュニケーションを減らせるかが課題となっている

文化や言葉のニュアンスを捉えた正確な相互理解に繋がり、ビジネスチャンスが生まれる

通訳・翻訳ツールはもはや、**ビジネスパートナーとして捉えるべき**といえる

通訳や翻訳ツールが必要なビジネスシーン

ますますグローバル化が進む中、通訳や翻訳ツールはビジネス・教育・観光・医療・国際交流など、様々な場面でビジネスチャンスを広げるきっかけを作ります。特にビジネスシーンにおいては下記のような場面で活用されることが多く、通訳・翻訳ツールをうまく活用していくことが引きつづき企業の課題となっています。

通訳・翻訳ツールが必要なビジネスシーン

グローバル企業をターゲットとしたイベント、セミナー



リアルタイムでの複数言語の音声通訳、セミナー資料やプレゼンテーションスライドを多言語で翻訳して参加者に配布するなどして活用

国際会議



同時通訳を通じて、各参加者が自分の言語で議論を理解できるようするほか、議事録や発表資料を多言語翻訳して事前配布するなどして活用

国際的な学会、展示会



プレゼンテーション時にリアルタイム字幕生成ツールによって講演内容を参加者の母国語で表示したり、携帯型の翻訳ツールを使って外国人参加者同士の対話を促進したりして活用

社外向け株主総会



海外の株主向けにリアルタイムで議論を理解できるほか、オンライン株主総会では、字幕機能を活用して会議の透明性を確保するのに活用

重要なイベントほど、通訳・翻訳ツールに求められる価値は高まる

「仕方がない」と諦めがちな通訳・翻訳ツールの課題

国際会議やグローバル向けの展示会、株主会議など、**自社にとって重要なイベント**では通訳や翻訳ツールが必要不可欠です。

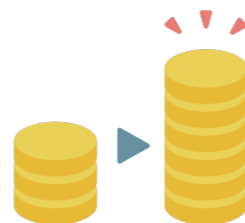
だからこそ、現状の課題を仕方がなく受け入れている企業が多く存在しています。特に以下のような課題は実は解決することができる可能性が高いため、当てはまるかどうかチェックしてみてください。

通訳・翻訳ツールの課題



通訳の手配が難しい

コミュニケーションコストを下げるコストがかかる上に専門知識や文化背景を熟知する通訳者は人気があるため、予定を押さえにくい



想定よりもコストがかかる

多言語対応が必要な場合は通訳者の数だけコストがかかる



実は事前準備に時間と労力がかかっている

特にカンファレンスや展示会開催前は、通訳者との事前mtgが必要



通訳用の備品の準備も必要

通訳用のブースやモニター設置、同時通訳レシーバーの配布～回収などが必要



翻訳ツールの精度が低い、使いこなせない

講演者と聴講者の声を分けられず、結果的に手作業で修正する時間が発生する

コストと手間を抑えつつ、よりスムーズに多言語コミュニケーションを実現する方法とは？

低コストかつ正確な多言語コミュニケーションをAIで実現する方法

ビジネスシーンでの通訳・翻訳ツールの価値は、正確なコミュニケーションのサポートと、信頼性向上によるビジネスチャンス拡大です。

前頁で紹介した通訳や翻訳ツールの課題を払拭するには「事前準備を最低限で済ませられる」「より正確に通訳・翻訳できる」「低コストに抑えられる」この3点が重要であり、それらを兼ね備えているのが「Wordly」です。

Wordlyとは？

AIの同時通訳クラウドソリューション

5つの特徴

01

リアルタイムで60を超える言語に同時通訳できる



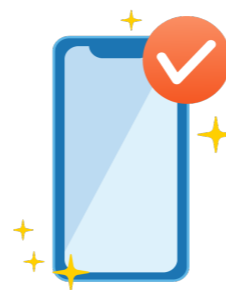
02

精度が高く、辞書機能を使うことで業界独自の言語にも対応できる



03

専用端末不要



04

わかりやすく、リーズナブルな価格設定



05

音声情報を学習に利用しないため、機密情報等を守ったまま利用できる



Wordlyはグローバルで400万ユーザーが使用するニュースタダード（※2025年2月時点）

Wordlyの活用シーン

Wordlyは、60を超える言語をリアルタイムに翻訳します。

国際会議、展示会での参加者満足度向上から、ディスカッションの質向上、研修での理解度向上まで様々なシーンで活用可能です。ここでは活用例を2つ紹介します。

活用シーン①

大規模イベント

Wordlyは、約3万人が来場する大規模イベント「Inter BEE」や「CEATEC」でも導入されています。

- ・ 海外からの聴講者はWordlyによってスマートフォンを通じて母国語でイベントを楽しめる。
- ・ AIリアルタイム翻訳システムによって、登壇者のスピーチ内容をスマートフォンを通じてテキスト確認・音声聴講できる



活用シーン②

オンライン会議

Wordlyなら、オンラインにおいてもスムーズかつ確実なコミュニケーションを実現します

- ・ 複数の言語を双方向かつ同時に翻訳できるため、通訳を介さずコミュニケーションが取れる



Wordlyはあらゆるシーンで多言語コミュニケーションを最適化する

Wordlyの操作イメージ

Wordlyは直感性に優れたデザインで誰でも使いやすいUIを採用しています。

WordlyのUI

Wordlyセッションを立ち上げると、2つのショートカットが発行され、
利用シーンに応じてスピーカー・参加者に共有される

スピーカー



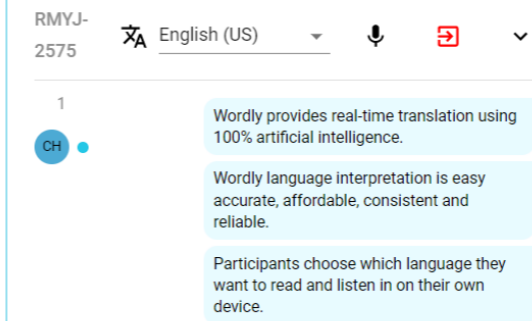
参加者



ミーティングのショートカットに入室している別の人が話した**翻訳文字起こしも確認可能**

スピーチ、セッション中でも言語の切り替えが可能

Wordly



Wordly



24時間365日、いつでも60以上の好きな言語に翻訳

対応言語(60+言語)

日本語,英語,中国語(簡体字/繁体字),広東語,韓国語,アフリカンス語,アラビア語,アルバニア語,イタリア語,インドネシア語,ウェールズ語,エストニア語,オランダ語,ギリシャ語,グジャラート語,クロアチア語,スウェーデン語,スペイン語,スロバキア語,スロベニア語,セルビア語,タイ語,チェコ語,デンマーク語,ドイツ語,トルコ語,ノルウェー語,ハンガリー語,ヒンディー語,フィンランド語,フランス語,ブルガリア語,ベトナム語,ヘブライ語,ベンガル語,ポーランド語,ポルトガル語,マルタ語,マレー語,ラトビア語,リトアニア語,ルーマニア語,ロシア語

アイリッシュ語,ウクライナ語,ウルドゥー語,スワヒリ語,タガログ語,タミル語,パンジャブ語,ペルシャ語 ※ターゲット言語(通訳先の言語)としてのみ対応 <https://www.wordly.ai/language-interpretation>

RX Japan株式会社様は展示会でのカンファレンス時に通訳者を手配していましたが、労力やコストなどに課題を抱えていました。
そこでWordly導入したところ、**同時通訳に要していた労力・コストを大幅に削減することに成功しました。**

導入前の課題



- ・通訳者を雇うのに大きなコストがかかっていた
- ・言語別に複数の通訳者を手配する必要があった
- ・非効率な作業負担が発生していた

導入前の効果



- ・従量課金制のため**コストを抑えられた**
- ・専門の通訳者手配が不要となり、**交渉や事務手続きが不要**になった
- ・現場での**設営業務などを大幅に削減**できた

Wordly選定理由

- ・講演者側のURLと聴講者側のURLを別々に発行し、話す側と聞く側を区分できる
- ・コンテンツダウンロード可否を設定できる
- ・パナソニック デジタル株式会社の手厚いサポート

AI翻訳ツール「Wordly」でビジネスチャンスを拡大しよう

グローバルが進む昨今では、言語を問わず正確かつ迅速なコミュニケーションが求められます。

従来の通訳・翻訳ツールを活用する方法では解決できなかったコスト削減や業務効率化をWordlyなら実現可能です。

「グローバル化を推し進めたい」「既存の海外クライアントとの関係性をより深めたい」という場合はWordlyをご検討ください。

パナソニック デジタル株式会社は 手厚いサポートをご提供いたします

- ・ 説明会の実施
- ・ アカウント構築に関するご相談
- ・ 迅速なレスポンス

Wordlyのサービス資料をダウンロードする



※Wordlyはワードリー株式会社の製品です。

ご連絡先

パナソニック デジタル株式会社

大阪本社 TEL：06-6906-2801 住所：〒530-0053 大阪府大阪市北区末広町2番40号 Panasonic XC OSAKA

東京本社 TEL：03-5148-5634 住所：〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目21番1号 住友不動産汐留浜離宮ビル23階

Panasonic